



2020年3月期 通期 決算説明会資料

ネットワークシステムズ株式会社 [証券コード 7518]

2020年4月23日

1	2020年3月期 通期業績概要	P.02-09
2	「納品実体のない取引」における再発防止策の進捗	P.10-11
3	中期事業計画の進捗	P.12-19
4	2021年3月期 通期業績の見通し	P.20-24

1

2020年3月期 通期業績概要

2020年3月期 通期業績サマリー

(単位：百万円)	2019/03 通期実績		2020/03 通期実績		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	180,970		204,423		+23,453	+13.0%
売上高	174,838	100.0%	186,169	100.0%	+11,331	+6.5%
売上原価	131,288	75.1%	137,261	73.7%	+5,972	+4.5%
売上総利益	43,549	24.9%	48,908	26.3%	+5,358	+12.3%
販売費及び一般管理費	31,383	17.9%	32,431	17.4%	+1,048	+3.3%
営業利益	12,166	7.0%	16,476	8.9%	+4,310	+35.4%
経常利益	12,412	7.1%	16,563	8.9%	+4,151	+33.4%
親会社株主に帰属する当期利益	4,323	2.5%	10,124	5.4%	+5,800	+134.2%
受注残高	75,052		93,517		+18,464	+24.6%

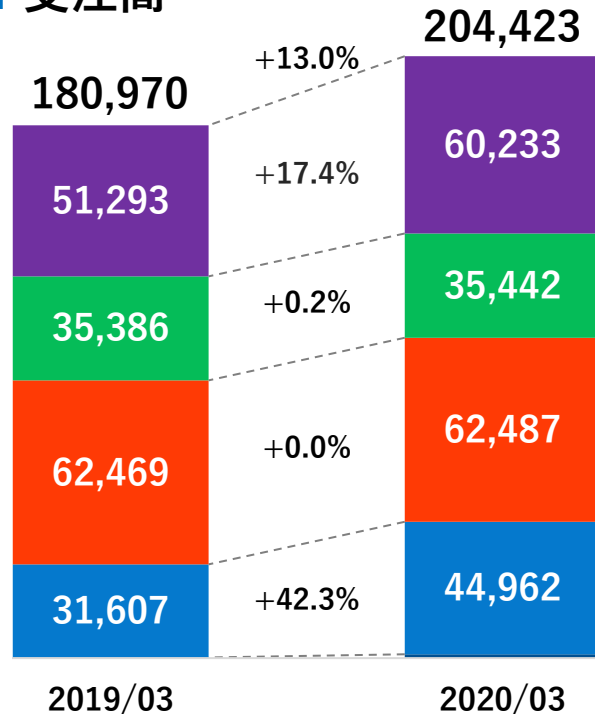
継続してセキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが好調に推移し、受注高・売上高・各利益が前年同期比で増加

【2020年2月14日公表の修正予想値との主な差分】 受注高+94億円、売上高△19億円、営業利益+15億円

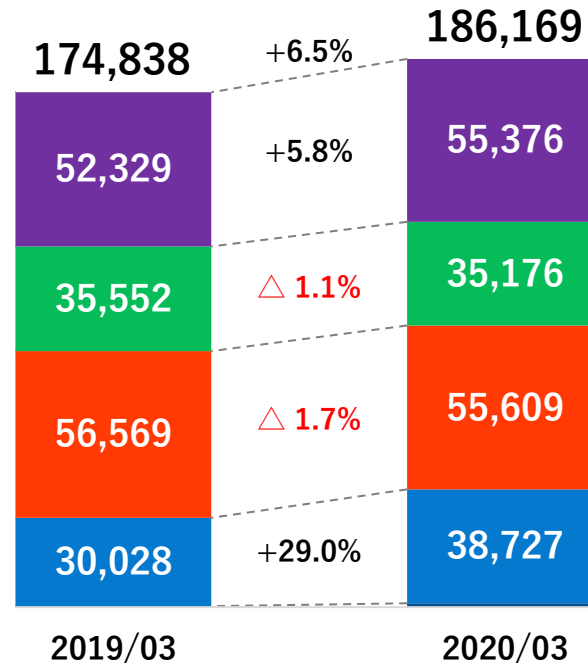
マーケット別 受注高・売上高・受注残高

(単位：百万円)

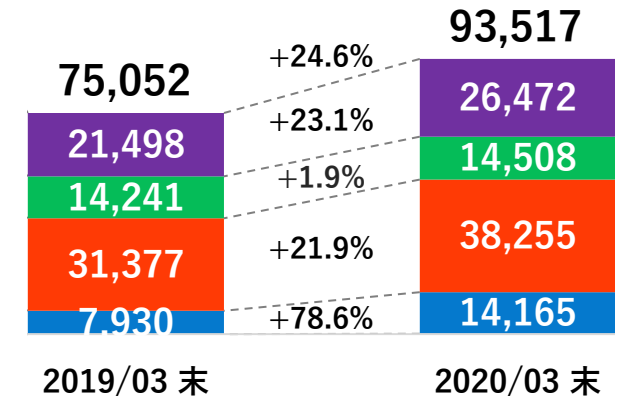
■ 受注高



■ 売上高



■ 受注残高



エンタープライズ

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、スマートファクトリーのビジネスが堅調

通信事業者

MSPも含めたサービス基盤ビジネスを中心に堅調

パブリック

自治体・ヘルスケア・教育を中心に、セキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが堅調

パートナー

主要パートナー向けのビジネスが堅調。また、第3四半期に5G案件を受注

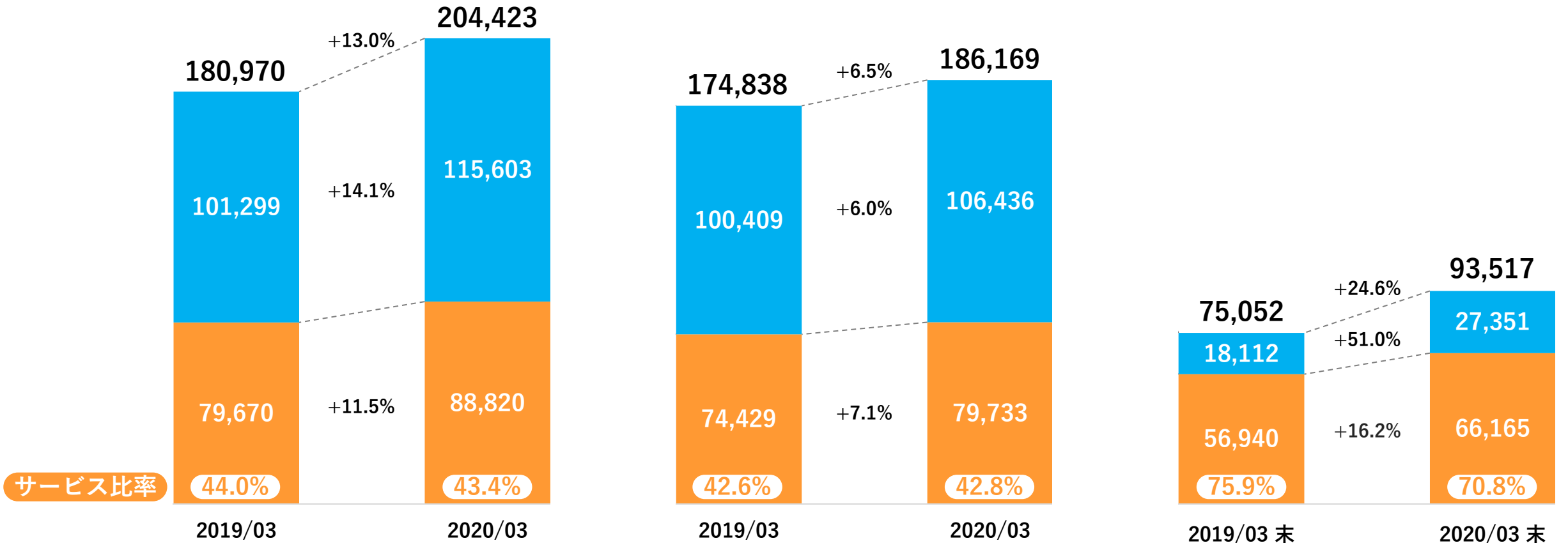
商品群別 受注高・売上高・受注残高

(単位：百万円)

■ 受注高

■ 売上高

■ 受注残高

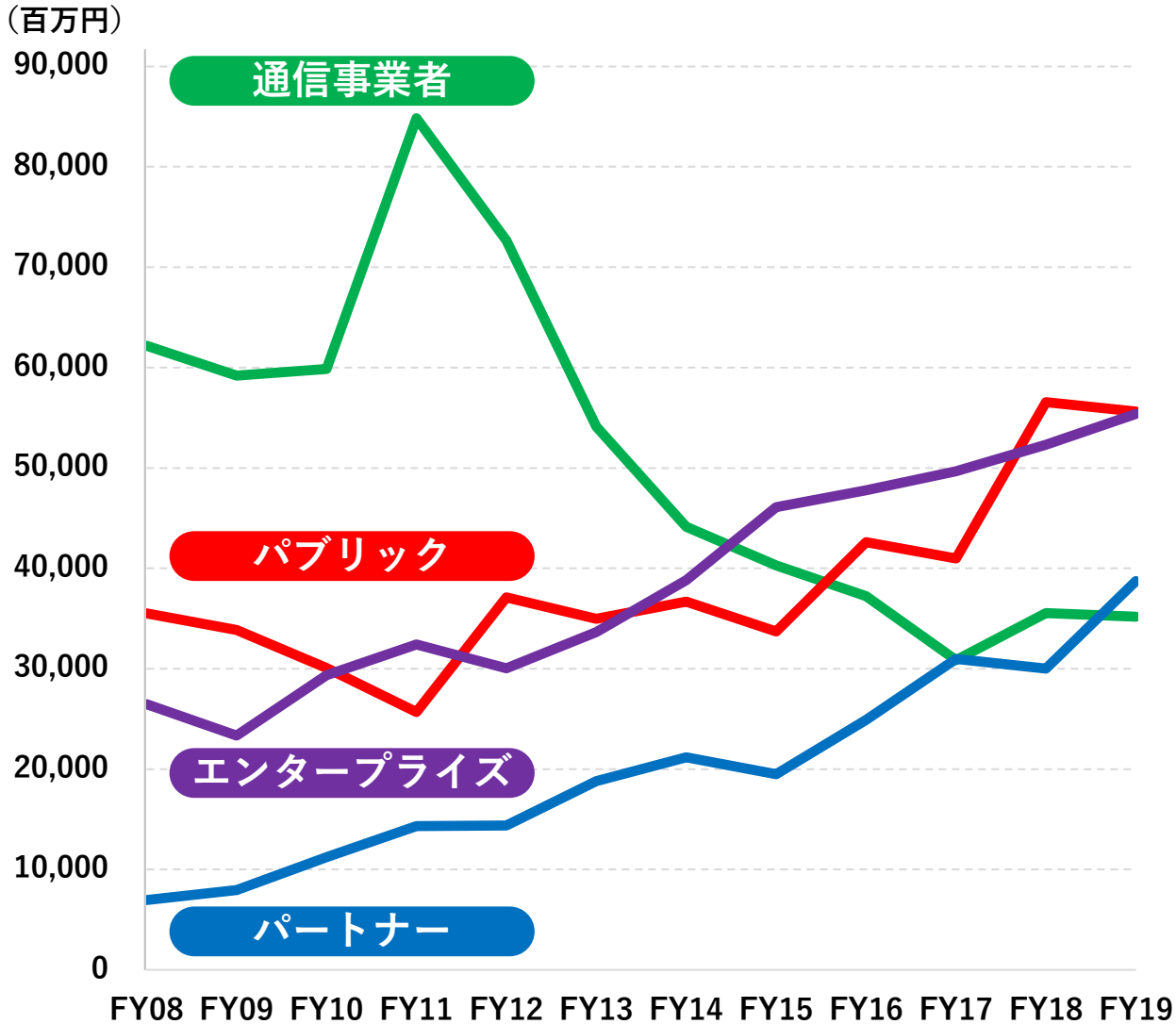


機器
サービス

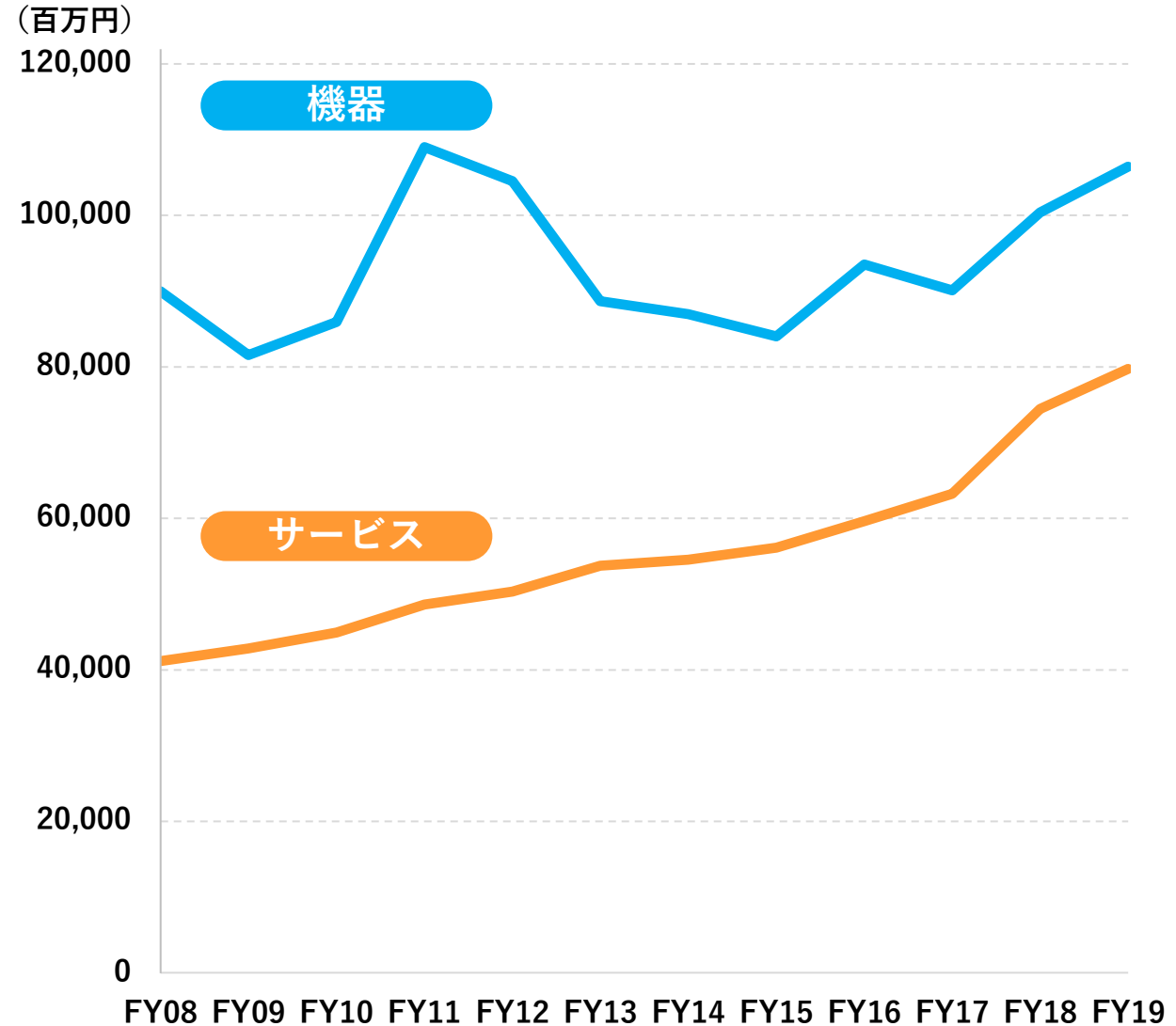
「統合サービス事業」が拡大し、サービスの受注高・売上高・受注残高が順調に増加。一方で、機器中心の5G案件が発生したことで、受注高・受注残高のサービス比率は低下。

マーケット別・商品群別の売上高推移

マーケット別 売上高



商品群別 売上高



(単位：百万円)		報告セグメント					計	その他	合計	調整額	連結
		エンタープライズ	通信事業者	パブリック	パートナー						損益計算書
										計上額	
2020/03 【当期】	売上高	55,384	35,180	55,616	38,735	184,916	1,290	186,207	(37)	186,169	
	セグメント利益	6,294	3,708	4,304	3,093	17,401	(39)	17,361	(885)	16,476	
	利益率	11.4%	10.5%	7.7%	8.0%					8.9%	
2019/03 【前期】	売上高	52,329	35,552	56,569	30,028	174,480	470	174,950	(112)	174,838	
	セグメント利益	3,263	3,454	3,842	2,117	12,677	153	12,831	(665)	12,166	
	利益率	6.2%	9.7%	6.8%	7.1%					7.0%	

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、前期はサーバサービス事業等を、当期はグローバル事業等を含んでいます。
 2. セグメント利益の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2019.03.31	2020.03.31	前年度末比	
	実績	実績	増減額	増減率
資産合計	118,313	136,111	+17,797	+15.0%
流動資産	106,225	124,980	+18,754	+17.7%
現預金+有価証券	25,305	31,473	+6,167	+24.4%
売掛金+受取手形	42,928	52,845	+9,916	+23.1%
棚卸資産	14,290	15,657	+1,366	+9.6%
その他	23,700	25,004	+1,303	+5.5%
固定資産	12,087	11,131	(956)	△ 7.9%
有形固定資産	5,240	4,709	(530)	△ 10.1%
無形固定資産	1,434	1,501	+66	+4.6%
投資等	5,412	4,920	(492)	△ 9.1%
負債合計	58,699	69,437	+10,737	+18.3%
流動負債	49,906	57,704	+7,797	+15.6%
固定負債	8,793	11,732	+2,939	+33.4%
純資産合計	59,614	66,674	+7,059	+11.8%
株主資本	59,387	66,094	+6,707	+11.3%
その他の包括利益累計額	62	286	+223	+355.4%
新株予約権	163	180	+16	+10.1%
非支配株主持分	-	112	+112	-
負債純資産合計	118,313	136,111	+17,797	+15.0%

	2019/03	2020/03	前年同期比	
			増減額	増減率
為替レート (\$円)	110.15	108.78	(1.37)	△ 1.2%
1株当たり当期利益 (円)	51.07	119.52	+68.45	+134.0%

	2019/03 末	2020/03 末	前年同期比	
			増減数	増減率
従業員 (人)	2,294	2,431	137	+6.0%

- (注)
1. 2019年9月30日時点の株主に対し、2019年11月15日に中間配当金として、1株あたり21.00円をお支払しております。
 2. 期末配当金について、1株あたり21.00円から3.00円増配し24.00円とすることを、2020年6月11日開催予定の定時株主総会に上程する予定です（2020年4月23日公表）。
 3. 2020年3月期から連結対象の3社（ネットワンネクスト株式会社、エクストリーク株式会社、Net One Asia Pte. Ltd.）、及び、非連結子会社への出向の影響を除いた場合の、2020年3月期末の従業員数は2,264名です。

2

「納品実体のない取引」における 再発防止策の進捗

再発防止策、及び、進捗状況

営業取引の 基本方針	架空取引リスクの排除	当社グループの付加価値（独自のサービスやソリューション等）が認められる案件のみを対応	開始済：2月13日
		明細の無い「一式」表記の案件を禁止	開始済：2月13日
		納入先お客様ならびに仕入元ベンダーが明確で、直接取引する案件のみを対応	開始済：2月13日
		中央省庁案件のみを担当する「霞が関オフィス」を閉鎖	実行済：3月31日
		PMS（Process Management System）による案件審査体制の強化	5月より開始
リスク管理体制の 強化	リスク管理活動の 抜本的見直し	最高リスク管理責任者（CRO）の役割を、「リスクの識別、リスク対応、リスク管理活動の有効性評価、継続的改善、その他のリスク管理プロセスを統括」と明確化	実行済：4月1日
		「旧・リスク・コンプライアンス委員会」を刷新し、リスク管理活動の評価と統制を行う「リスク管理委員会」、コンプライアンス活動の評価と統制を行う「コンプライアンス委員会」を組織。CROが両委員会を管掌するとともに、両委員会に社外取締役も参加し、客観的な視点での意見・評価を得る	実行済：4月22日
	部門ごとの 重要リスクの識別・評価	実行計画を策定 各部門は、期初に自部門のリスクを分析し、「リスク調査シート」をリスク管理室に提出。 リスク管理室は客観的な視点からその検証と判断を行う	実行済：4月22日 5月以降通年で実施
業務統制の強化	営業部門の権限の見直し	発注権限と検収権限を営業部門から分離	4月より取組開始
		業務規程を改定（見積承認、受注・売上業務、発注・納品確認・検収業務など）	6月より取組開始
		業務規程の改定と連携したシステム改修	6月より取組開始
	購買機能の強化	購買機能を「グループ購買部」として独立（旧・グループ購買・物流部） 仕入・検収に関する購買プロセスや機能の再定義・強化	実行済：4月1日 6月より取組開始
再発防止策の有効性向上	再発防止に関する業務ルール変更の全社的な統轄・管理のために、社長直轄の専任組織として「営業統轄室」を新設	実行済：4月1日	
属人化の防止	部門を横断する人事ローテーションの実行	実行済：4月1日	
コンプライアンス 活動の見直し	内部通報制度の運用見直し	ハラスメントに関する通報と、不正に関する通報の窓口を分けるなど、有効性を高める運用形式に変更	6月中に実施
	コンプライアンス意識の強化	全社員（役員や幹部層を含む）を対象とした研修を実施	通年で実施
		各部門は、期初に「コンプライアンスの活動計画」を作成 役員や幹部層は、自身のコンプライアンス活動を宣言し、取締役会や経営委員会等で四半期ごとにレビューを実施	5月中に実施 通年で実施
	新たな企業風土の形成	「ビジョン浸透委員会」を組織。本委員会には社外取締役も参加し、客観的な視点での意見・評価を得る 「ビジョン浸透委員会」における議論を経て、当社グループのゴール・ミッション・行動指針をまとめた「ビジョンブック」を更新し、社内での浸透を再徹底	実行済：4月22日 9月に更新 以降浸透を徹底

3

中期事業計画の進捗

3つの成長：新たな価値を提供できる魅力ある企業へ

社員の成長
- 自創力 -

会社の成長
- 独創力 -

お客様・パートナーの成長
- 価値共創 -

3つの基本戦略

注力市場・新モデルの拡大
- 市場カバレッジの拡張 -

+

統合サービス事業の加速
- サービス比率の拡大 -

+

働き方改革2.0/DXの実践
- 生産性の向上 -

3年間の成長

売上高の増加
1,748億円→2,200億円

+

売上総利益率の向上
24.9%→26.4%

+

販売管理費率の低減
17.9%→16.9%

FY21 目標

営業利益
210億円

営業利益率
9.5%

好調



ヘルスケア

対象：大規模病院

受注高：+20億円[FY18比]
(FY21目標：+50億円)

お客様の要望

医療アプリと基盤の分離調達
医療従事者の働き方改革



統合基盤（プライベートクラウド）
院内Wi-Fi/セキュリティ

好調



スクールシステム

対象：教育委員会

受注高：+25億円[FY18比]
(FY21目標：+50億円)

お客様の要望

児童・生徒の教育におけるICTの利活用
教育情報システムの基盤統合



校内LAN(教室Wi-Fi)/セキュリティ
統合基盤/クラウド活用

好調



スマートファクトリー

対象：大手製造業

受注高：+27億円[FY18比]
(FY21目標：+50億円)

お客様の要望

生産稼働率の向上に向けた、
データ収集・可視化・分析・改善



工場LAN/セキュリティ
エッジクラウド/AI/分析コンサル

計画通り



MSP (マネージド・サービス・プロバイダー) への支援

内容：MSPのサービスを支援するソリューションを提供

受注高： + 10億円 [FY18比]
(FY21目標： +50億円)

お客様の要望

サービス事業者：運用性の高い新サービスの共創
利用企業：ICT人財不足に伴う利用モデルへのシフト



ネットワーク・セキュリティ・データ共有等における、
統合管理やシンプル導入が可能なソリューション

計画通り



リファーマビリティ (再生品) の展開

内容：再生品・第三者保守を新設子会社から提供

受注高： + 16億円 [FY18比]
(FY21目標： +50億円)

お客様の要望

再生品を活用した投資効率化
所有から利用モデルへのシフト



再生品/第三者保守サービス/レンタルサービス
サブスクリプションサービス

好調



統合サービス事業

内容：カスタマーサクセス視点での高付加価値の創出、ライフサイクル全体の支援、利用モデルへの移行支援

サービス受注高：+91億円、サービス受注比率：-0.6pt[FY18比]
(FY21目標：サービス比率50%)

お客様の要望

グランドデザイン段階からの、ICT利活用を見据えた支援
運用支援と改善提案の連動による、ライフサイクル全体での継続した最適化



お客様と共創した「あるべき姿」とロードマップに沿って、高付加価値ソリューションを段階的・継続的に提供
日々のICT利活用における具体的な課題を把握し、継続的に基盤を最適化

やや遅れ



働き方改革2.0/DX

内容：業務改革&デジタル化による、業務スピード・品質・ガバナンスの向上
成功・失敗の知見をお客様に還元（netone on netone）

不正行為への対応が生じたことで、新収益認識基準への対応が1年延期に

FY19：デジタル化の準備を完了

業務プロセスの再整備とデジタル基盤の方針を策定

FY20：デジタル化を段階的に開始

業務プロセスとデータを連動させ、業務自動化と有益な情報提供を試行

- お客様の抜本的な意識の変化 -
ICT利活用による、事業継続・働き方改革

お客様の事業継続を支援するテレワーク環境の提供

ビデオ会議/Web会議、仮想デスクトップ、ファイル共有サービス等の各種システムを提供
これらシステムの安定稼働のためのネットワーク基盤、社外業務でも情報漏えいを防ぐセキュリティ対策、
当社グループが10年来取り組みを進めている働き方改革の知見も提供



働き方改革2.0/DXの加速による、当社の事業継続性の向上

残存している紙帳票・契約書の電子化や電子商取引（EDI）対象の拡大等で、デジタル化をより強く推進
遠隔地からお客様のシステム運用を支援する仕組みも強化
出勤が困難な状況においても、お客様へのサービス提供に影響が無い体制へ

中期経営指標

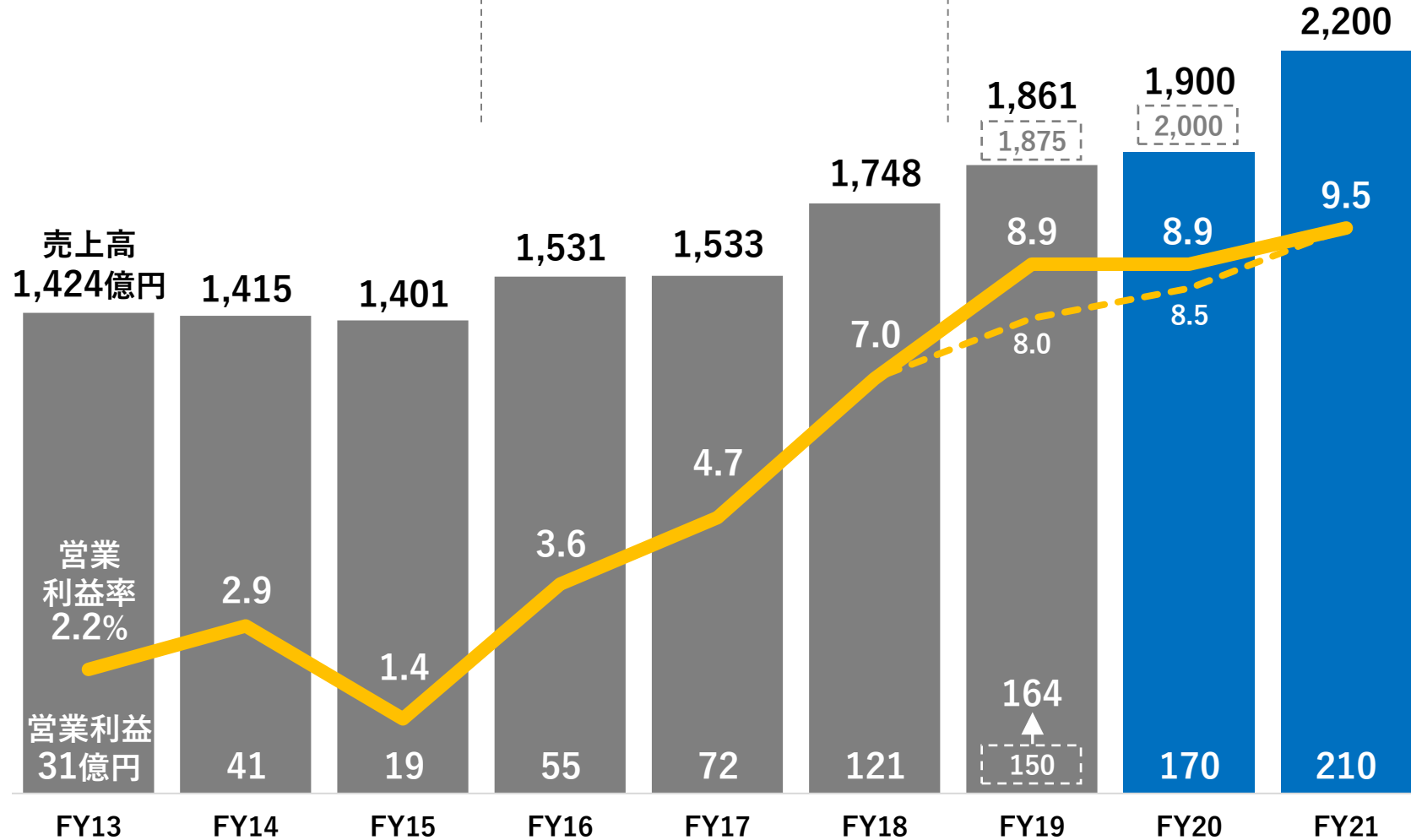
点線：公表時の指標

	FY18 実績	FY21 目標
営業 利益率	7.0%	9.5%
サービス 比率	42.6%	50%
ROE	7.4%	16.8%

ビジネスモデルの変革

継続した成長
(クラウド・セキュリティ)

次世代に対応する変革
(統合サービス事業)



4

2021年3月期 通期業績の見通し

2021年3月期 通期業績の見通し

(単位：百万円)	上期		下期		通期	
受注高	90,000		115,000		205,000	
売上高	80,000	100.0%	110,000	100.0%	190,000	100.0%
売上原価	59,000	73.8%	81,000	73.6%	140,000	73.7%
売上総利益	21,000	26.3%	29,000	26.4%	50,000	26.3%
販売費及び一般管理費	16,000	20.0%	17,000	15.5%	33,000	17.4%
営業利益	5,000	6.3%	12,000	10.9%	17,000	8.9%
経常利益	5,000	6.3%	12,000	10.9%	17,000	8.9%
親会社株主に帰属する当期利益	3,300	4.1%	8,200	7.5%	11,500	6.1%
1株当たり配当金	24.00円		24.00円		48.00円	

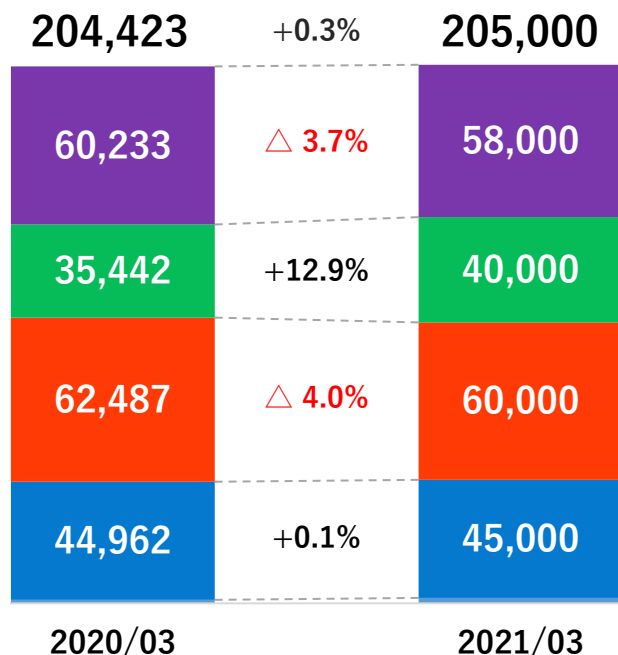
売上総利益率及び生産性の改善によって、営業利益は中期事業計画通り増加する見通し
一方で、新型コロナウイルスの影響で、売上高は2020年3月期と同水準の見通し

(注) 本業績見通しは、現時点の受注残高及び受注状況から、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいています。
上期の事業状況に応じて、通期業績見通しを修正する可能性があります。

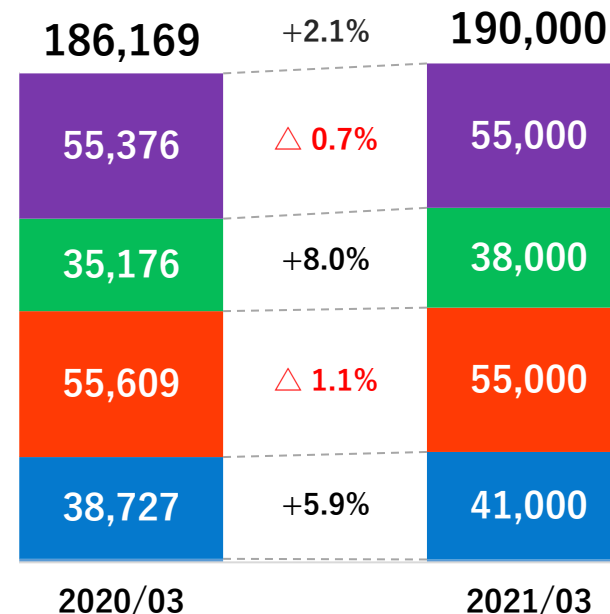
2021年3月期 通期業績の見通し：マーケット別

(単位：百万円)

■受注高



■売上高



エンタープライズ

引き続き、セキュリティ対策・クラウド基盤・働き方改革・スマートファクトリーのビジネスに注力

通信事業者

サービス基盤ビジネス及びMSPビジネスを拡大

パブリック

継続して、自治体・スクールシステム・ヘルスケア等でセキュリティ対策・クラウド基盤のビジネスに注力

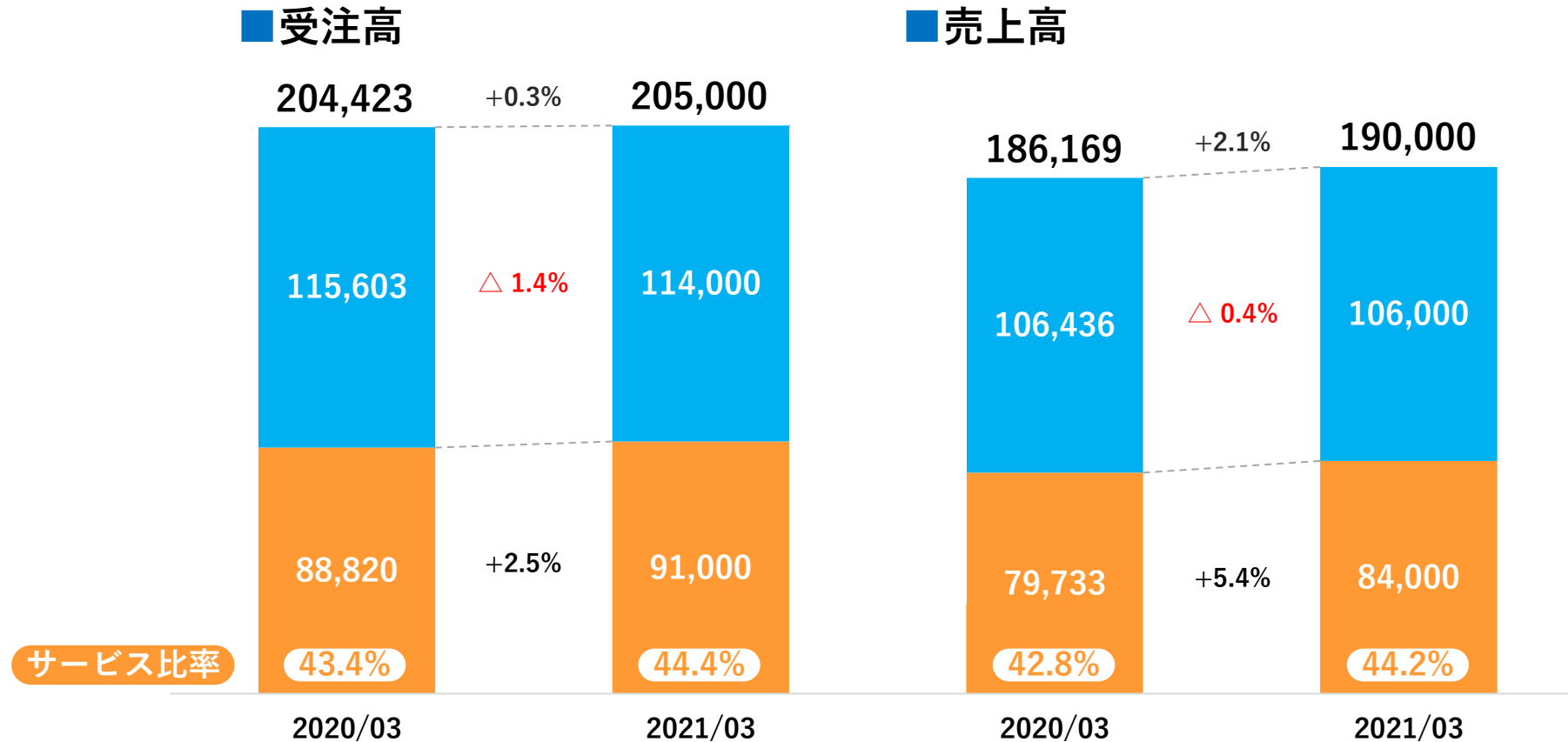
パートナー

各種パートナー向けのビジネス拡大に努めるとともに、MSPビジネスも拡大

(注) 本業績見通しは、現時点の受注残高及び受注状況から、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいています。上期の事業状況に応じて、通期業績見通しを修正する可能性があります。

2021年3月期 通期業績の見通し：商品群別

(単位：百万円)



機器	引き続き、高付加価値を創出する「統合サービス事業」の拡大に努め、サービスの受注高・売上高、及び、サービス比率を拡大
サービス	

(注) 本業績見通しは、現時点の受注残高及び受注状況から、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいています。上期の事業状況に応じて、通期業績見通しを修正する可能性があります。

利益配分に関する基本方針

企業価値の向上による株主利益の向上を目指すとともに、経営基盤の拡充と成長力の源泉である株主資本の充実を図り、長期にわたり安定的かつ業績を適正に反映した利益還元を行っていく

配当金について

当面の配当性向目標
「連結配当性向30%以上」

当期の連結当期純利益：10,124百万円



業績予想値を上回ったため、
期末配当金予想を3.00円増額し24.00円に修正

	年間配当金	連結配当性向
2019年3月期	37.00円	35.1% (※決算訂正前)
2020年3月期	45.00円	37.7%
2021年3月期	48.00円 (予想)	35.4% (予想)

自己株式取得について

当面の方向性
「手元資金が250億円～300億円を安定的に超える際は、
自己株式取得を含めた利益還元策を検討」

当期末の現金及び預金：314億円



各種検討した結果、新型コロナウイルス感染症拡大の
状況を鑑み、一旦手元資金を維持することを判断しました

今後、新型コロナウイルス感染症の状況を
慎重に見極めた上で、判断します

つなく ∟ むすぶ ∟ かわる



net one